

UAE とカタールにおける 海外ブランチキャンパスの誘致政策の展開

トロント大学オンタリオ教育研究所博士課程学生 花田 真吾

Shingo Hanada

高等教育の国際化により、国境を越えた教育が進展している。Knight (2011)は、国境を越えた教育には3つの世代があると指摘している。第1世代は学生や研究者など人の国際移動、第2世代は高等教育機関や教育プログラムの国際移動、第3世代は第1世代と第2世代の進展により特定の国・地域に集積した国内外の学生や研究者、高等教育機関に、研究機関や知識産業企業などを含めた知的集合体により教育・研究活動を行う教育ハブを示す。アラブ首長国連邦(UAE)とカタールでは、第2世代の高等教育機関の国際移動のうち、海外ブランチキャンパスの誘致を積極的に展開しており、本稿では両国の海外ブランチキャンパスの誘致政策について考察する。

1. 海外ブランチキャンパスの定義と UAE、カタールにおける設置数

The Observatory on Borderless Higher Education のレポートにおいて、外国大学の海外ブランチキャンパスは、(1)外国大学の大学名により運営され、(2)その大学運営は外国大学単独もしくは外国大学と現地パートナー機関との共同で運営されており、(3)学生が授与される学位は外国大学単独により授与されることと定義されている(Becker, 2009)¹。この定義に基づく世界の海外ブランチキャンパスの設置数は、2002年時点で24校、2006年時点で82校、2009年時点で162校であり、その数は急激に伸びている(Becker, 2009)。このうち、UAEには40校設置されており、世界全体の約25%を占めている。また、2006年から2008年にかけて世界で新設された49校のうち25校がUAEに設置されており、ここ数年間においてもUAEへの進出はめざましい(Lasanowski, 2010)。一方、カタールには2009年時点で9校が設置されている。UAEとカタールの誘致数に大きな違いがある理由は、以下の両国の誘致政策の違いが挙げられる。

2. UAE の誘致政策

UAE は7つの首長国により構成される連邦国家である。高等教育は連邦政府の Ministry of Higher Education and Scientific Research の管轄であり、海外ブランチキャンパスを含む私立高等教育機関の設置認可とその後の質保証は、同省の

¹外国大学と現地大学とのジョイントディグリープログラム、ダブルディグリープログラムを提供している場合や、学位プログラムにおけるカリキュラムの一部を海外ブランチキャンパスが提供し、それ以外のカリキュラムは外国大学本校で履修する場合はこの定義に該当しない。

Commission for Academic Accreditation(CAA)が担当機関となっている。しかし、特区 (free-zone) に設置される高等教育機関は CAA の審査対象ではなく、その設置認可を受けることなく設置が可能である。UAEの海外ブランチキャンパスの誘致政策は、主に特区への誘致が中心となっている。

2009年時点で、主にドバイのDubai International Academic City (DIAC)、Knowledge Village (KV)²、アブダビのAcademic Cityに海外ブランチキャンパスが進出している。特に、DIACには世界13カ国³から28校が進出しており、UAE全体の約70%を占めている (Dubai School of Government, 2010 ; Becker, 2009)。DIACは、2006年にドバイ政府系投資会社であるTECOM Investmentsにより、海外ブランチキャンパスをはじめとする高等教育機関の誘致に特化して設立された特区である (DIAC, 2011)。一方、Academic Cityは、DIACと比較して、海外ブランチキャンパスの誘致数と多様性の追求よりも、欧米の主要大学ないし世界的に評価されている学問分野を持つ大学に絞った誘致政策を展開しており、2009年時点で5校⁴が進出している。

また、UAEの誘致政策の特徴として、各特区が外国大学側にインセンティブを提供していることが挙げられる。具体的には、DIACでは海外ブランチキャンパスに対して100%の外国資本比率の保有、納税免除、利益の本国への100%送還を認めており⁵、Academic Cityでは海外ブランチキャンパスの設立後の運営に対して財政的支援が行われている (Becker, 2009)。

2010年時点で、UAEでは39,127名の学生が高等教育機関に所属しているが、その38%は特区に設置されている高等教育機関に所属しており (KHDA, 2010)、特区内の高等教育機関の多くが海外ブランチキャンパスであることを踏まえると、UAEの高等教育における海外ブランチキャンパスの存在が大きくなっていることが伺える。

3. カタールの誘致政策

カタールは、サーニ一家による首長国であり、海外ブランチキャンパスの誘致はサーニ一家が推進している。2009年時点でカタールは9校を誘致しているが、そのうち7校はサーニ一家が運営する非営利組織のQatar Foundationが設立したEducation Cityに設置されている (Becker, 2009)。Education Cityに設置される海外ブランチキャンパスは、設置認可とその後の質保証についてカタール政府の質保証機関であるInstitutional Standards Officeの審査を必要としない点ではUAEの特区と類似している。また、外国大学側へのインセンティブについても積極的に取り組んでおり、

² KVに設置している高等教育機関はDIACへの移管が行われている。

³ アメリカ、カナダ、イギリス、フランス、ベルギー、オーストラリア、ロシア、シンガポール、インド、パキスタン、スリランカ、レバノン、イラン

⁴ INSEAD、ソルボンヌ大学、ニューヨーク大学、ニューヨーク工科大学、ニューヨークフィルムアカデミー

⁵ 海外ブランチキャンパスの誘致をしている他の国 (例：中国) では、外国資本比率、納税免除、利益の本国送還に制限を付している国がある (Radden, 2008)。

Qatar Foundationはキャンパス設立に関するインフラ整備コストや人件費の負担をしている（Becker, 2009）。

一方で、UAEの特区と比較したEducation Cityにおける誘致政策は次の2点の特徴がある。第1に、欧米、特にアメリカの主要大学の誘致に特化している点である。2009年時点で、Education Cityに進出している7校の高等教育機関のうち6校がアメリカの主要大学である⁶。2011年にはイギリスとフランスの主要大学の進出が予定されているが、依然としてアメリカの主要大学の存在感が大きい⁷。第2に、新たに誘致する海外ブランチキャンパスの教育プログラムが、既存の海外ブランチキャンパスの教育プログラムと重複しないように慎重に選定されている点である⁸。以上2点から、カタールの誘致政策は、外国大学本校および学問分野の選定に重点を置いていることが指摘できる。

4. UAEとカタールが海外ブランチキャンパスを誘致する要因

UAEとカタールが海外ブランチキャンパスの誘致を展開する最大の要因は、両国に共通して、高等教育の需要拡大への対応策として位置づけられていることである。そして、その需要拡大をけん引しているのは、UAEとカタールそれぞれに居住権を持つ外国人労働者（expatriate people）の子弟、留学生、女子学生である。

両国は持続的な経済成長を実現させるため、従来の天然資源に依存する経済構造から知識経済への転換を図っているが（Kumar, 2006）、国連開発計画（UNDP）によるレポート“Arab Human Development Report: Building a Knowledge Society”では、UAEとカタールを含むアラブ諸国が知識経済への転換を推進させるためには、知識経済における経済活動を担う知的人材育成へのより一層の努力が重要だと指摘されている（UNDP, 2009）。また、その鍵は高等教育の教育研究の改善とアクセシビリティの拡大にあるが、現在のアラブ諸国の高等教育機関はその機能を向上させる必要があるとしている（UNDP, 2009）。両国の高等教育機関は、国公立（Public）と私立（Private）に大別できるが、UAEの国公立高等教育機関はUnited Arab of Emirates University、Zayed University、Higher College of Technologyの3機関、カタールの国公立高等教育機関はQatar Universityの1機関である。ただし、これら両国の国公立高等教育機関は自国籍を持つ国民のみ対象としており、UAE人口の80%、カタール人口の81%を占め

⁶ 1998年にVirginia Commonwealth University（芸術系学士および修士課程）2001年にWeill Cornell Medical College（非学位プログラム、医学博士課程）、2003年にTexas A&M University（化学、電子、機械、石油工学、数学系学士課程、工学、科学系修士課程）、2004年にCarnegie Mellon University（コンピュータサイエンス、情報システム、ビジネス系学士課程）、2005年にGeorgetown School of Foreign Service（国際政治、国際経済、政治・文化系学士課程）、Northwestern University（ジャーナリズム、コミュニケーション系学士課程）が進出している。その他、2002年にカナダのCollege of the North Atlanticの多分野に渡る非学位プログラムが進出している。

⁷ フランスはHEC Paris（エグゼクティブビジネスプログラム）、イギリスはUniversity College（考古学、博物館学系プログラム）。

⁸ 脚注6、7の各大学の学問分野を参照。

る居住権を持つ外国人労働者は対象としていない (Davis, 2010)。一方で、外国人労働者の子弟からの高等教育需要が拡大しているが、その受け皿として私学高等教育の拡大が期待されており、その主要な政策が海外ブランチキャンパスの誘致である。

また、知識経済への転換の推進に伴う高度人材確保の必要性から、両国とも優秀な留学生の獲得にも積極的に乗り出しており、その受け皿としても海外ブランチキャンパスは期待されている。海外ブランチキャンパスの本校はその多くが欧米の大学であるが、本校よりも学費が低く設定されていることなどから、より安価な留学コストで欧米の大学教育を受けることができる留学先として期待されている。

女子学生については、両国の女子学生にとって両国の文化的背景から海外へ留学することが困難な場合があり⁹、海外ブランチキャンパスは国内にしながら外国の大学教育を提供する機会として期待されている。

5. 今後の課題

最後に、両国の海外ブランチキャンパスの誘致政策に関する課題の1つとして、教育の質保証の問題を言及したい。

記述の通り、UAEでは特区に設置されている海外ブランチキャンパスの設置認可とその後の質保証は政府の質保証機関ではなく、実質的に各特区の運営主体によって行われている。そのため、海外ブランチキャンパスに対するUAEとしての統一した質保証システムがなく、その判断は各特区に委ねられているといえる。この状況を受け、ドバイでは政府機関である Knowledge and Human Development Authority Dubai (KHDA) が多国籍の専門家から構成される University Quality Assurance International Board (UQAIB) を創設し、TECOM が運営主体である DIAC と KV に設置されている海外ブランチキャンパスに関する質保証ガイドラインを作成した (Dubai FAQ, 2011; Dubai School of Government, 2010)。ただし、このガイドラインは海外ブランチキャンパスの教育プログラムが外国大学本校と同等の質であることを求めると定めているものの、同等であることを判断する指標や誘致する外国大学本校の質を審査する基準の整理が今後の課題となるだろう。

カタールにおいても同様の状況が見受けられる。Education City に設置されている海外ブランチキャンパスの教育の質については、Qatar Foundation が監督を行っている。Qatar Foundation の質保証の基準も UQAIB の基準と同様、外国大学本校と同等の教育の質を求めるとしている (Kinser, et al., 2010)。カタールでは欧米、特にアメリカの主要大学を誘致する政策を推進しているが、どんな基準を持って主要大学と判断するかの客観性が求められるだろう。

⁹ その例として、伝統的イスラム文化では、女子学生が留学する場合は男性の配偶者もしくは親戚を監督者 (Mahrum) として同行させる必要があるとしており、実質的に留学が難しい場合がある。

以上、UAE とカタールの海外ブランチキャンパスの誘致政策について考察した。現在、UAE の DIAC、Academic City、カタールの Education City は将来的に第 3 世代の教育ハブを目指す方針を示しており、今後は第 2 世代の高等教育機関の国際移動だけでなく、第 1 世代の人の国際移動の受入れについても積極的な政策を展開していくことが見込まれる。両国の高等教育の国際性がますます高まっていく中で、教育の質保証システムの構築は両国の高等教育を世界にアピールしていくためにも重要な課題となってくるだろう。

参考文献：

- Becker Rosa, F, J. (2009). International Branch Campuses: Markets and Strategies: London. Observatory on Borderless Higher Education (OBHE).
- Dubai International Academic City (DIAC). (2010). About DIAC. Retrieved June 2, 2011 from <http://diacedu.ae/about-diac>
- Davis, C, J. (2010). American Higher Education in Arabian Gulf. A Force for Liberalization. Naval Postgraduate School. Retrieved June 13, 2011 from <http://dodreports.com/pdf/ada524532.pdf>
- Dubai FAQ. (2011). University Quality Assurance International Board (UQAIB). Retrieved June 2, 2011 from <http://www.dubaifaqs.com/uqaib.php>
- Dubai School of Government. (2010). International Branch Campuses, Free Zones, and Quality Assurance: Policy Issues for Dubai and the UAE. *Policy Brief, 20*. Retrieved August 16, 2011 from <http://www.dsg.ae/dp.aspx?u=2393&l=e&f=http://www.dsg.ae/LinkClick.aspx?fileticket=gRC6nss7R3A=&tabid=308&mid=826>
- Kinser, K., Levy, D., Casillas, J.C.S., Bernasconi, A., Slantcheva Durst, S., Otieno, W., Lane, J., Praphamontripong, P., Zumeta, W. and LaSota, R. (2010). *The global growth of private higher education*. ASHE Higher Education Report Series, Wiley, San Francisco.
- Knight, J. (2011). Education Hubs: A Fad, A Brand, An Innovation? *Journal for Studies in International Education*, 15(2).

- Knowledge and Human Development Authority (KHDA). (2010). Knowledge and Human Development Authority. The Higher Education Landscape in Dubai 2010. Retrieved September 28, 2011 from http://www.khda.gov.ae/CMS/WebParts/TextEditor/Documents/HE%20Landscape%20in%20Dubai%202010_eng.pdf
- Kumar, K. (2006). Globalization and 'Social Change' in the GCC Society. Center for West Asian and North African Studies. Jawaharlal Nehru University. Retrieved August 16, 2011 from <http://www.scribd.com/doc/39846972/GLOBALIZATION-AND-%E2%80%99SOCIAL-CHANGE%E2%80%99-IN-THE-GCC-SOCIETIES>
- Lasanowski, V. (2010). International Branch Campuses: Motivations, Opportunities & Challenges. Presented at Going Global 4 2010. London, the United Kingdom. Retrieved September 28, 2011 from http://www.britishcouncil.org/going_global_4_-_international_branch_campuses_-_v_lasanowski_-_pp.pdf
- Redden, E. (2008, February 12). The Phantom Campus in China. *Inside Higher Ed*. Retrieved August 16, 2011 from <http://www.insidehighered.com/news/2008/02/12/china>
- United Nations Development Programme (UNDP). (2009). Arab Human Development Report: Building a Knowledge Society. Retrieved August 16, 2011 from <http://www.arab-hdr.org/contents/index.aspx?rid=5>